

古河市 RESASを活用した 政策立案ワークショップ^o 第1回

EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社 大村 浩之
2026年2月17日



The better the question. The better the answer. The better the world works.



Shape the future
with confidence

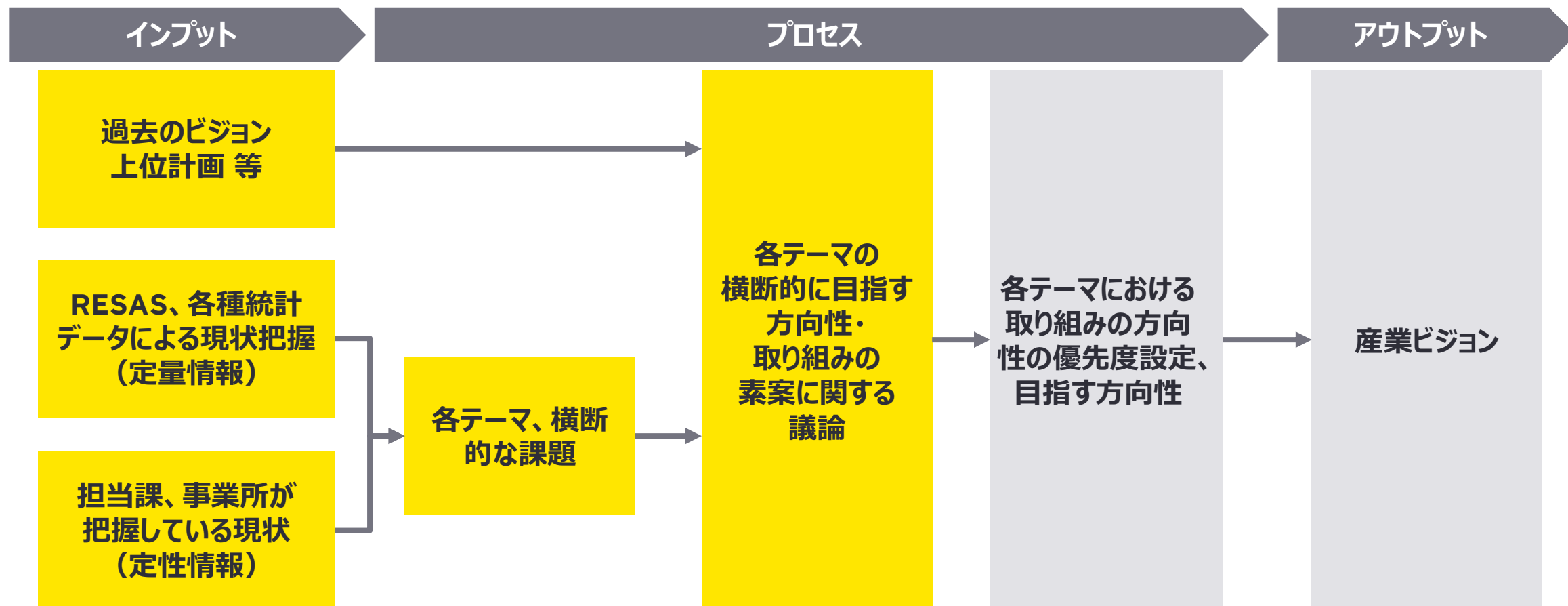
産業ビジョンを策定するために、第1回で商工業／農業／観光および横断的な課題・取り組みの方向性に関する議論をすることを想定しています

	第1回	第2回
時期	2026年2月17日	2026年3月24日
WSのゴール	■ 商工業／農業／観光および横断的な課題が明らかになっている ■ 3テーマおよび横断的な目指す方向性・取り組み内容（素案）が整理できている	■ 産業ビジョンの全体像が明確になっている ■ 3テーマおよび横断的な方向性・取り組みが整理できている
WSコンテンツ（案）	■ RESASおよび各種統計情報の現状分析共有 【主な分析テーマ】 地域経済循環、人口、観光、産業、農業 ■ 3テーマおよび横断的な現状・課題の議論 【議論の観点】 域外需要の獲得、地域内循環の強化、稼ぐ力の向上、推進基盤の整備 ■ 3テーマおよび横断的な目指す方向性・取り組み内容に関する議論	■ 3テーマおよび取り組みの方向性の議論 ■ 具体的な取り組み内容および優先度に関する議論 ■ 上記を踏まえた産業ビジョン全体の方向性に関する議論

全2回のワークショップでの議論内容をもとに、産業全体、各テーマの目指す方向性・施策を整理して、産業ビジョンの全体像を明らかにします



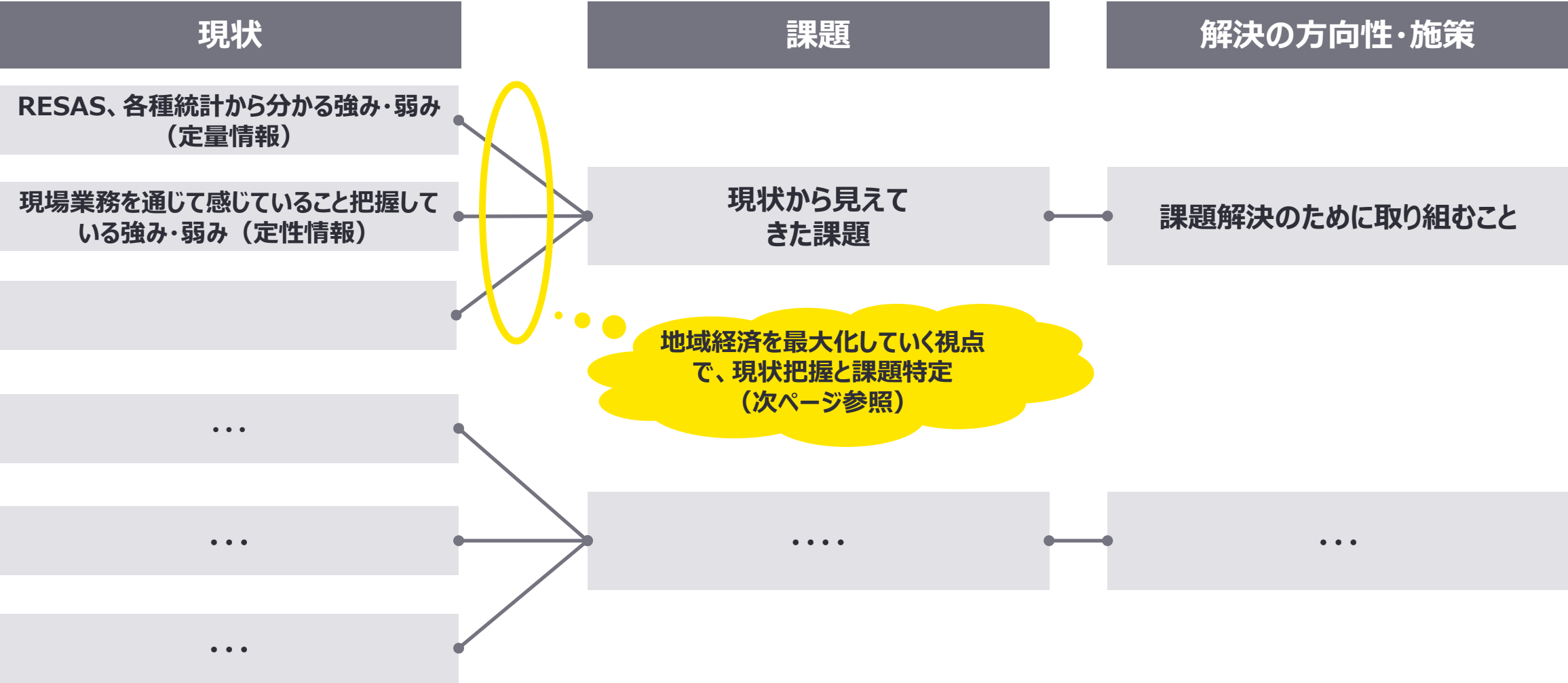
定量・定性情報をもとに各テーマ、横断的な課題を把握して、各テーマ・横断的に目指す方向性、を議論した上で産業ビジョンの全体像を明らかにします



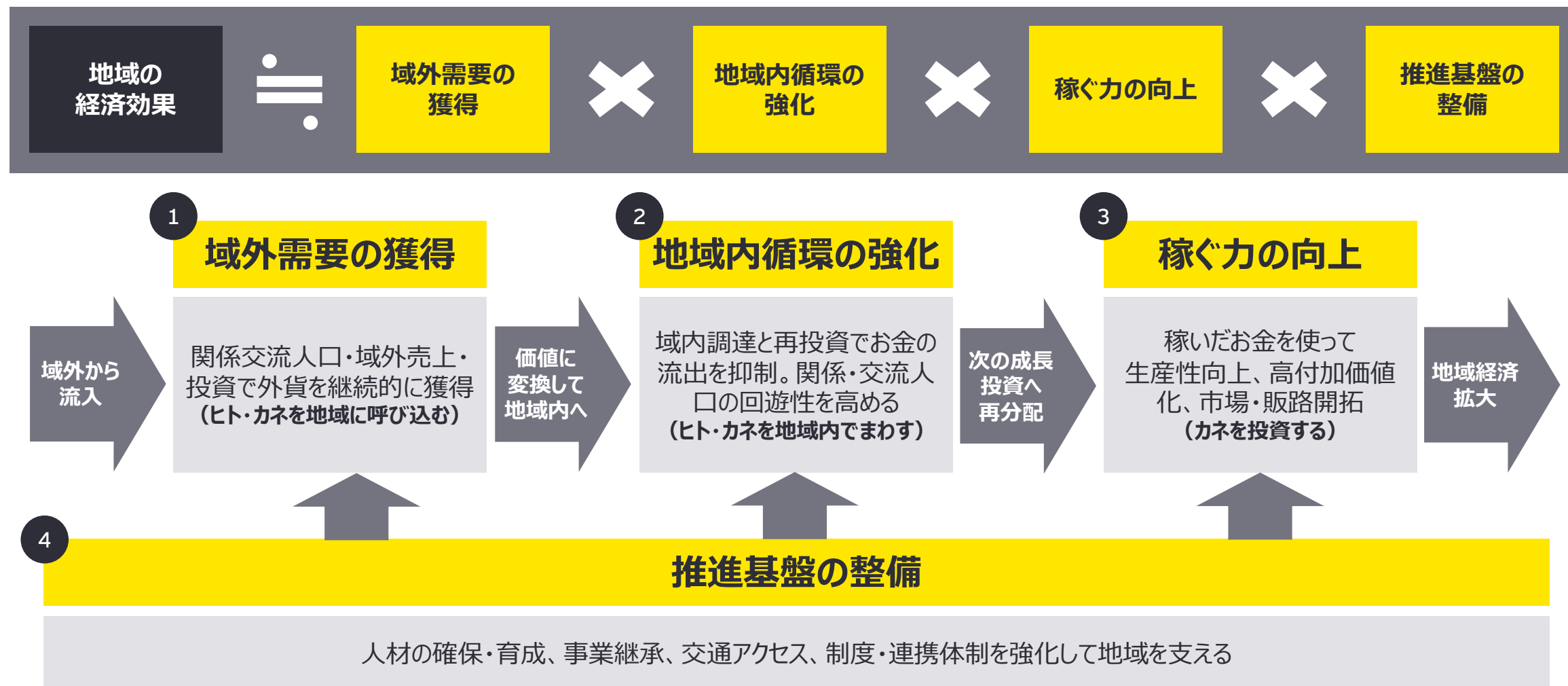
第1回

第2回

地域経済最大化の観点で、RESAS等の定量データと現場の定性情報を把握し、課題を特定した上で解決策を検討します。



地域の経済効果を最大化するためには、域外需要を獲得し、地域内の経済循環を高め、次のステージに向けて稼ぐ力を向上させるとともに、これらを支える推進基盤を整備することが重要です



「域外需要の獲得」、「地域内循環の強化」、「稼ぐ力の向上」、「推進基盤の整備」の観点で、
テーマごとに現状（定量・定性）・課題・取り組み・施策の方向性を整理していきます

		現状（定量・定性）	課題	取り組みの方向性・施策
商工業	1 域外需要の獲得	関係交流人口・域外売上・投資で外貨を継続的に獲得 （ヒト・カネを地域に呼び込む）	本ワークショップで議論	
	2 地域内循環の強化	域内調達と再投資でお金の流出を抑制。関係交流人口の回遊性を高める （ヒト・カネを地域内でまわす）		
	3 稼ぐ力をあげる	稼いだお金を使って生産性向上、高付加価値化、市場・販路開拓 （カネを投資する）		
	4 推進基盤の整備	人材の確保・育成、事業継承、交通アクセス、制度・連携体制を強化して地域を支える		
		観光、農業も同様に4つの観点で現状、課題、取り組みの方向性を整理		

ワークショップでは「データ分析の示唆」、「現場から見える現状と課題」、「課題への取り組みの方向性」について議論します

① データ分析の示唆

- RESASや統計データの分析結果からどのような示唆が得られるか？
- 不足しているデータや、現場で蓄積している関連データはあるか

② 現場から見える現状と課題

- 4つの観点で、現場で把握している現状（強み・弱み）、課題を共有
 - 域外需要の獲得
 - 地域内循環の強化
 - 稼ぐ力の向上
 - 推進基盤の整備

③ 課題への取り組み方向性

上記の課題に対し、どのような取り組みが可能か、素案を議論する

第2回ワークショップ°

産業ビジョンの全体像を明らかにするために、3テーマおよび横断的な方向性・施策を整理します

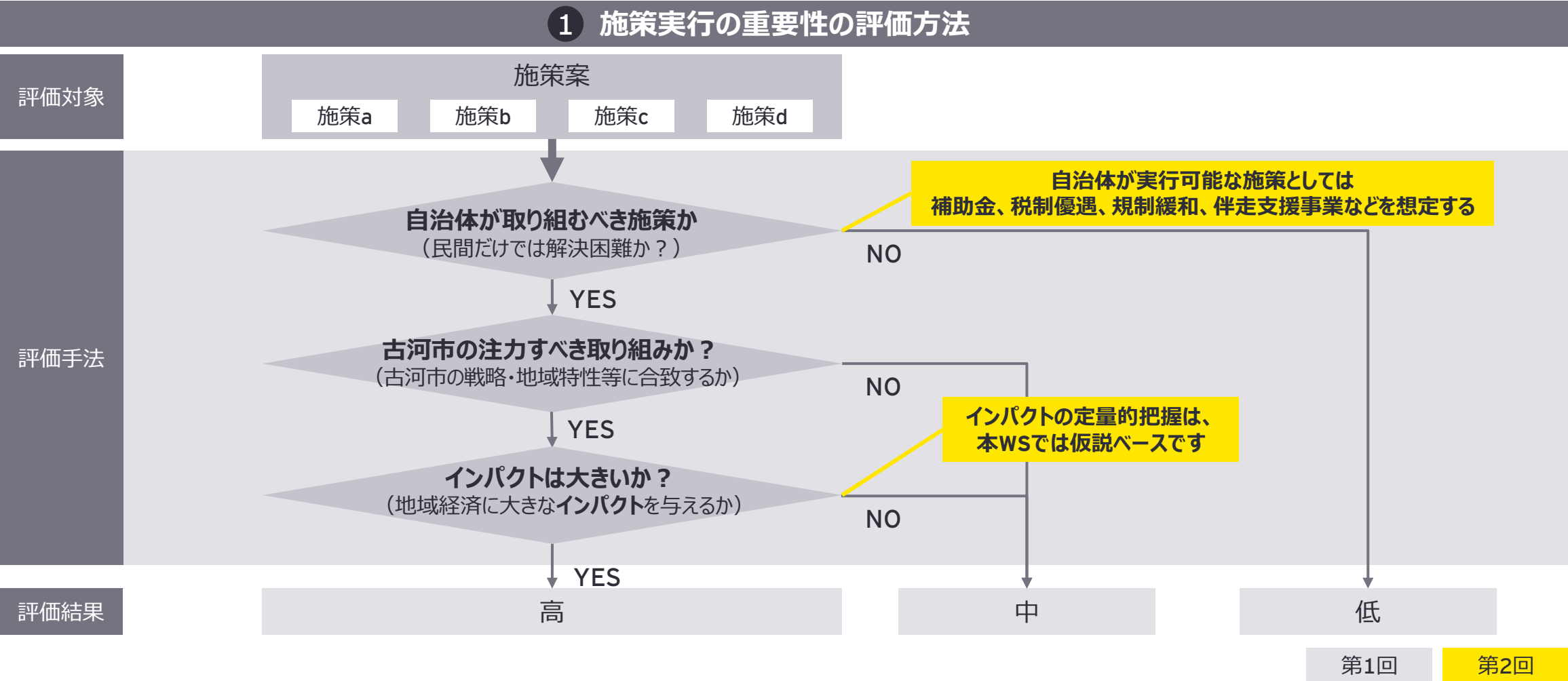
	第1回	第2回
時期	2026年2月17日	2026年3月24日
WSのゴール	■ 商工業／農業／観光および横断的な課題が明らかになっている ■ 3テーマおよび横断的な目指す方向性・取り組み内容（素案）が整理できている	■ 産業ビジョンの全体像が明確になっている ■ 3テーマおよび横断的な方向性・施策が整理できている
WSコンテンツ（案）	■ RESASおよび各種統計情報の現状分析共有 【主な分析テーマ】 地域経済循環、人口、観光、産業、農業 ■ 3テーマおよび横断的な現状・課題の議論 【議論の観点】 域外需要の獲得、地域内循環の強化、稼ぐ力の向上、推進基盤の整備 ■ 3テーマおよび横断的な目指す方向性・施策に関する議論	■ 3テーマおよび取り組みの方向性の議論 ■ 具体的な施策および優先度に関する議論 ■ 上記を踏まえた産業ビジョン全体の方向性に関する議論

各テーマの取り組み案を「取り組み実行の重要性」×「取り組み実現にかかる期間」で評価することで、優先的に取り組むべき施策を絞り込みます

		② 施策実行に要する期間		
		短期	中期	長期
① 施策実行の重要性	高	【観光】 施策a	【商工業】 施策c	【テーマ横断】 施策d
	中	【農業】 施策b		
	低			

image

施策実行の重要性の評価では、自治体に取り組むべき施策であるか、古河市の注力すべき施策であるか、といった観点で評価を行い、高・中・低の3段階に分類します



取り組み実行にかかる期間の評価方法では、各取り組みを実行するに当たり最も解決に時間がかかる課題および取り組み実行に必要となる期間を検討し、短期・中期・長期に分類します

2取り組み実行に要する期間



産業施策を実行するに当たり最も解決に時間のかかる課題を
ヒト・モノ・カネ・情報の観点で抽出

施策実行にかかる
時間を検討
短期：1年以内
中期：1～3年
長期：4年以上

		施策の実行に当たり最も解決に時間のかかる課題				施策実行に 要する期間
		ヒト	モノ	カネ	情報	
観光	取り組む方向性a	専門的な人材を集めるのに時間がかかる				中期
	取り組む方向性b		大規模な用地整備が必要になる			長期
農業	取り組む方向性X				マーケット調査に基づく判断の必要がある	短期
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

EY | Building a better working world

EYは、クライアント、EYのメンバー、社会、そして地球のために新たな価値を創出するとともに、資本市場における信頼を確立していくことで、より良い社会の構築を目指しています。

データ、AI、および先進テクノロジーの活用により、EYのチームはクライアントが確信を持って未来を形づくるための支援を行い、現在、そして未来における喫緊の課題への解決策を導き出します。

EYのチームの活動領域は、アシュアランス、コンサルティング、税務、戦略、トランザクションの全領域にわたります。蓄積した業界の知見やグローバルに連携したさまざまな分野にわたるネットワーク、多様なエコシステムパートナーに支えられ、150以上の国と地域でサービスを提供しています。

All in to shape the future with confidence.

EYとは、アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドのグローバルネットワークであり、単体、もしくは複数のメンバーファームを指し、各メンバーファームは法的に独立した組織です。アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドは、英国の保証有限責任会社であり、顧客サービスは提供していません。EYによる個人情報の取得・利用の方法や、データ保護に関する法令により個人情報の主体が有する権利については、ey.com/privacyをご確認ください。EYのメンバーファームは、現地の法令により禁止されている場合、法務サービスを提供することはありません。EYについて詳しくは、ey.comをご覧ください。

EYのコンサルティングサービスについて

EYのコンサルティングサービスは、人、テクノロジー、イノベーションの力でビジネスを変革し、より良い社会を構築していきます。私たちは、変革、すなわちトランスフォーメーションの領域で世界トップクラスのコンサルタントになることを目指しています。7万人を超えるEYのコンサルタントは、その多様性とスキルを生かして、人を中心に据え（humans@center）、迅速にテクノロジーを実用化し（technology@speed）、大規模にイノベーションを推進し（innovation@scale）、クライアントのトランスフォーメーションを支援します。これらの変革を推進することにより、人、クライアント、社会にとつての長期的価値を創造していきます。詳しくは、ey.com/ja_jp/services/consultingをご覧ください。

© 2026 EY Strategy and Consulting Co., Ltd.
All Rights Reserved.

ED None

本書は一般的な参考情報の提供のみを目的に作成されており、会計、税務およびその他の専門的なアドバイスをを行うものではありません。EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社および他のEYメンバーファームは、皆様が本書を利用したことにより被ったいかなる損害についても、一切の責任を負いません。具体的なアドバイスが必要な場合は、個別に専門家にご相談ください。

ey.com/ja_jp